

令和 7 年度 第 3 期 論文式憲法試験問題

受験上の注意事項

- 1 監督者の指示がある前に、この問題を開くことを禁止します。
- 2 試験開始の合図により、解答を始めてください。この試験では、六法を貸与し、その使用を許可します。
- 3 試験開始の合図の後、印刷不鮮明等に気付いた場合は、黙って手を挙げ、監督者に申し出てください。
- 4 解答は、答案用紙に黒インクのペン又はボールペンにより書いてください。
消せるボールペンや時間の経過により字が消えるボールペンは使用しないでください。また、鉛筆は不可です。
- 5 試験時間は60分です。
試験開始後20分以内及び試験終了前5分間は、答案の提出及び試験室からの退出はできません。それ以外の時間に退出（途中退出）する場合には、黙って手を挙げ、自席で答案及び問題を監督者に渡してから退出してください。
- 6 この問題は、試験終了後、持ち帰ることができます。
- 7 次のもの以外は机上に置かないでください。
受験票、筆記具、時計（計算機能等のないものに限る。）、眼鏡。
受験票は、氏名、受験番号が記載されている面を表にして、監督者が見やすい位置に置いてください。なお、上記以外のものについては、監督者の許可を得てください。
- 8 問題検討のためのラインマーカー及び色鉛筆の使用は、問題用紙に限り認めます。
- 9 携帯電話等は、必ず電源を切って鞆等にしまってください。
- 10 試験室内では、耳栓の使用はできません。
- 11 試験時間中の発病等やむを得ない場合には、黙って手を挙げ、監督者の指示に従ってください。
- 12 試験時間中の喫煙や飲食（ガム等を含む。）は、禁止します。
- 13 試験終了の合図とともに、直ちに筆記具を置き、監督者の指示を待ってください。
- 14 不正の手段によって試験を受け、又は受けようとした者に対しては、試験を停止し、合格の決定を取り消すことがあります。

〔憲 法〕

次の〔設例〕を読んで、後記〔設問〕に答えなさい。

〔設例〕

公立A中学校の生徒であるBは、入学直後からL G B T Q＋（多様な性的少数者）の権利擁護のための活動に熱意をもって取り組み、休日には、校外でのそうしたイベントやパレードに参加するなどしていた。

2年生になって、A中学校が生徒の制服を男子はズボン、女子はスカートに限定していることに問題意識を抱くようになったBは、しばしば教員室を訪れ、制服は男女を問わずズボンとスカートを選択できるようにすべきであるとの申入れを繰り返すとともに、毎週金曜日の放課後にはA中学校敷地内の校門近くに立って、静穏な態様で、下校する生徒たちに対し、上記申入れが学校当局に受け入れられるように共に働きかけようと呼びかける内容のビラを配布した。

生活指導担当の教員らは、許可なく校内でビラを配布することは校則で禁じられている行為である旨をBに説諭し、ビラの配布をやめさせようとしたが、Bは、「自分にはビラを撒く権利があるはずだ。」と主張し、聞き入れなかった。

Bの高等学校受験に当たり、A中学校から各高校に対し、入学者選抜の資料としてBについての内申書が提出されたが、その「特記事項」欄には、「学校の許可を受けることなく校内で他の生徒にビラを配るなど、規律に従わない行動をとり続けている。」との記載があった。

〔設問〕

公立A中学校において設例にあるような内容の内申書を作成し、それをBが受験する各高校に提出することは、Bの憲法上の自由を侵害して違憲であるといえるか、対立する立場にも言及しつつ、あなた自身の見解を述べなさい。

